

御前山ビオトープ通信

令和6年7月7日

第65号

発行：御前山ダム環境センター

メール：denen21@ktb.biglobe.ne.jp

ホームページ：<http://www.7b.biglobe.ne.jp/~noasobi/>



目次

1. 御前山小学校田植え
2. 春のビオトープ育成活動
3. 自然観察会

【案内図】



春のダム湖一周ウォーク：4月6日（土）

1. 御前山小学校田植え

御前山小学校の「田んぼの学校」田植えが5月22日（水）桜山集落の田んぼで行われました。

当日は朝早くから環境センターの皆さんが、田んぼの整地、稲苗、テントなど準備してくれました。

9時過ぎに子供達がバスで



田植え、皆で頑張ります！



たが、皆笑顔で楽しそうでした。

一時間ほどで予定の面積を植え終り、その後に田植え機での作業も見学し、その早さに歓声が上がります。小川で手足を洗い、小休止をし、水路のカエルなどを発見して大騒ぎでした。

到着しました。さっそく足袋に履き替え、子供14名が勢揃いして開会の挨拶や、田植えの説明などを受けました。

さわやかな天気で田植えには最高です。最初は恐る恐る田んぼに入りますが、集落の皆さんの丁寧な手ほどきで元気に田植えが進みました。中には経験者か最初から上手な子や思いっきりお尻をつけて泥だらけになる子など様々までし



田植え終了

2. 春のビオトープ育成活動

6月5日（水）春の育成活動を行いました。年々参加者が増えてきて駐車場が手狭になってきて、ダム公園駐車場からの相乗りを呼びかけました。

当日は関東各県からNPOの呼びかけに応じて60名以上、地元からの10名以上の参加者



作業終了



手練りで取水口整備



各班に分かれて作業

がありました。

作業内容としては①取水口基礎強化、②河川流路改善、③河川雑木処理、④池漏水補修、⑤田んぼ漏水補修、⑥桧山大橋山桜剪定、⑦林間希少種選抜除草、⑧湿地希少種選抜除草の8班に分かれて作業を開始しました。

取水口は昨年秋の洪水で危険な状態となっていた基礎部を現場手練りの直営作業でコンクリート打ちを行いました。林間のイヌショウマ等は青山会長が間伐作用に取り組んで日照条件が改善し、元気になってきました。山桜は大きく立派に成長しているので、花見も楽しめそうです。

作業は順調に進み、刈り込まれた集合場所の藤棚をはじめとして、お陰様でビオトープ全体がかなりすっきりしました。さわやかな晴天で、最後に地元が用意してくれた昼食を頂きました。

翌日の6月6日には自然観察会が予定されており、子供達も安心して参加できると思います。

3.自然観察会(令和6年6月6日(木)実施)

御前山小学校5年生14名と先生3名、会員15名が参加し、午前9時から12時まで実施しました。

昨年度から御前山ダム環境センター会員の栗田耕太郎さんに自然観察会の先生をお願いして実施しています。

2名ずつ7班に分かれ、それぞれに会員がリーダーとして付き、ビオトープ内を自由に採集して周りしました。前日の「御前山ダム周辺環境整備・育成作業」の際にはあまり生物を見つけることができませんでしたので心配していましたが、いざ始めてみるとカエルやヤゴ、どじょう、カジカ等たくさんの生物をみつけることができました。

中には条件付特定外来生物に指定されたアメリカザリガニが数匹おり、栗田先生から何故「条件付」になっているのか、特定外来生物とはどういうものなのかの説明もあり、生徒たちは興味津々で話を聞いていました。

会の最後には会員の大越三男さんからビオトープで見ることができるホタルについての説明もあり、一人の生徒は夜、親と一緒に来てみる！と言っていました。

前日の環境整備活動でビオトープを綺麗にしてくれていましたので蛇の心配もなく、安心して実施することができました。



自然観察会、階段教室で講師説明